

第3回木更津市総合計画審議会 会議録

I. 開催日時 令和4年11月10日(木)午後2時30分から午後3時30分まで

II. 開催場所 木更津市役所 駅前庁舎8階 防災室・会議室

III. 出席者(敬称略)

【審議会委員】

生田まゆみ、石渡肇、伊藤勝規、神谷信久、栗本育三郎、国分多喜夫、齋藤幸子、鳶田陽一、清水一太郎、鈴木誠、瀬沼健太郎、曾我井祐明、高木愛子、滝口君江、玉丸森敏、中村和人、野口義信、平野弘和、平野文彦、福島都茂子、松田紀道、吉田昌弘

【木更津市】

渡辺市長、石井企画部長、渡辺企画部次長、水谷企画課長、山口主幹、佐久間係長、畑野主任主事、千代倉主事

【株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所(委託会社)】

(※以下、「ジャパン総研」と表記)

國分、山下

IV. 議題及び公開非公開の別

(1)会長の選出について 公開

(2)意見聴取の結果について 公開

(3)第3次基本計画(素案)について 公開

V. 傍聴人の数 0人

VI. 会議の内容

1. 開会

○事務局 佐久間

お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただ今から「第3回木更津市総合計画審議会」を開催いたします。なお、本日の審議会につきましては、会議録作成のため会議の内容を録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。

それでは、議事に入る前に渡辺市長から挨拶を申し上げます。

2. 市長あいさつ

○渡辺市長

皆さん、こんにちは。本日はご多用のところ、木更津市総合計画審議会にご出席いただきましてありがとうございます。また、先日開催いたしました第2回審議会におきましては、貴重なご意見を賜りましたことを感謝申し上げます。

委員の皆様から頂いたご意見や市民の皆様から意見聴取で頂いたご意見を踏まえて、次期

基本計画の素案をとりまとめさせていただきました。まだまだ精査しきれていないところはございますが、本日はその素案につきまして、皆様から改めて忌憚のないご意見、ご提言を賜りたいと思っております。

今後、少子高齢化が進行していく中において、本市が持続可能なまちとして存在し、次代へつないでいくためにも、これからの木更津市にとって実効性のある計画を策定してまいりたいと考えております。皆様におかれましては、十分ご審議を賜りますようお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局 佐久間

それでは、議事に入る前に資料の確認をさせていただきます。

ー資料確認ー

なお、ご発言の際は挙手の上、お手元のマイクのボタンを押していただき、ボタンが緑色に点灯したのを確認の上、発言をお願いいたします。発言が終わりましたら、もう一度マイクのボタンを押し、緑色のランプを消していただきますようお願いいたします。

それでは、早速、議事に入りたいと存じます。附属機関設置条例第6条第1項の規定により、会長が会議の議長となることになっておりますが、鈴木会長が去る10月31日付で辞任されたことにより、会長を改めて選出することとなります。会長選出までの間、清水副会長に議事の進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○清水副会長

ただいま、事務局から説明がありましたとおり、私が議長を務めさせていただきます。円滑な議事進行にご協力のほど、お願い申し上げます。

本日は、下村委員、濱寄委員、鈴木前会長に代わり新たに委員となりました池田委員が欠席しております。出席者は、22名です。附属機関設置条例第6条第2項の規定により、過半数を超えておりますので、この会議は成立しております。

また、本日の審議会は、「木更津市審議会等の会議の公開に関する条例」の規定により公開となっており、会議資料、会議録も公開となります。

傍聴者は本日はおりませんので、そのことを報告申し上げます。

3. 議題

議題(1)会長の選出について

○清水副会長

それでは、議事に入りたいと思います。

議題(1)「会長の選出について」を議題といたします。

会長の選出について、事務局から案はございますか。

○事務局 佐久間

会長に木更津市区長会連合会の清水委員を、副会長に木更津商工会議所の池田委員を推薦いたします。

○清水副会長

ただいま、会長に私、木更津市区長会連合会の清水、副会長に木更津商工会議所の池田委員を推薦する案が事務局より示されましたが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。異議がないようですので、会長は私、清水、副会長は池田委員いたします。

○事務局 佐久間

それでは、清水会長からご挨拶をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

○清水会長

ただいま会長との指名を受けました、木更津市区長会連合会の清水でございます。池田副会長をはじめ、皆様方のご協力を頂きながら、円滑な会議の進行に務めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局 佐久間

ありがとうございました。引き続き、清水会長に議事の進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○清水会長

会長が議長ということでありますので、引き続き私が議長を務めさせていただきます。円滑な議事進行にご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

議題(2)意見聴取の結果について

○清水会長

それでは、議事に入ります。

議題(2)「意見聴取の結果について」を議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

○水谷企画課長

それでは、私から意見聴取の結果につきまして、ご説明申し上げます。着座にて失礼します。

10月1日から31日までに実施しました、第3次基本計画と第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子案に対する意見聴取の結果について、ご説明いたします。

提出されました意見は1件ございまして、市内在住の30代男性から回答がございました。

まず、こちらの意見を音読させていただきます。

「持続可能なまちづくりのためには、子育て世帯の転入がとても重要です。今の木更津市は子育て世帯にとって魅力的ではありません。このままでは転入はおろか、転出が増えていくでしょう。20代、30代は情報取得の早さから、取捨選択のスピードが早いです。繰り返しになり

ますが、今の木更津市が選ばれることはないでしょう。

転入のヒントは全国にたくさんあります。千葉県の中でも、流山市や印西市が子育て世帯の流入に成功しています。具体的には待機児童ゼロは当たり前、慢性的な交通渋滞の解消、送迎バスの運行など、保護者負担の軽減などやるべきことはたくさんあります。一時的に市の財政を圧迫しても、人口増加によって将来的にはプラスに転じるでしょう。また、商業施設以外にも医療機関を誘致しましょう。地元の開業医以外にも様々なクリニックが必要です。本当に木更津市の未来を考えるのであれば、教育と道路整備に予算を使いましょう。市と市民が参画し、忖度なしで本当により良いまちづくりを考える必要があります」。

こちらの意見につきましては、持続可能なまちづくりのためには子育て世帯の転入が重要で、転入させる施策として、待機児童ゼロの達成と継続、保育園等における送迎バスの運行、慢性的な交通渋滞の解消を挙げております。また、その他に様々な医療機関の誘致や、教育と道路整備に予算を使ってほしいという意見でございました。

関連する施策でございますけれども、施策02「医療の充実」、施策11「子育て支援の充実」、施策12「学校教育の充実」、施策33「交通体系の充実」に関連するものでございます。

説明は以上でございます。

○清水会長

ただいま、事務局より説明がありましたけれども、皆様、ご質問、ご意見はございますか。

○中村委員

少し聞いてもよろしいですか。この方が言っていることはもっともだと思うのですが、医療機関を誘致するというのは、あくまでも個人がやっているものを誘致することなのではないでしょうか。

○水谷企画課長

これを額面どおりに読んでも、「様々なクリニックが必要です」というような書き方でございますので、少し判然しないところがございます。

○中村委員

今、市長のところにも話がいつているかもしれないですけども、新しい病院が金田地区あたりにできるという噂もあるのですが、それを医師会が手伝ってくれるかどうかはまだ不明な部分があります。医師会としても賛同できるかどうかはまだ分からない部分もあるので、これとは関係ない話になってしまいますけれども、どんなものを目的としてこの文面を書いたのかなと思ひまして、聞かせてもらいました。

○水谷企画課長

ありがとうございます。こちらは匿名ということですので、どこまで情報を承知しているのかというのは私どもも分かりかねます。金田の病院の関係も、事務局としては承知しておりますけれども、その辺りをこちらの男性の方が承知しているかどうかということまでは追跡できないです。

○中村委員

確かにたらい回しの問題とかもありますので、救急医療が多くなったほうがいいとは思っているのですが、現実、実際にやったときにどうなるかというところもあるので、医師会としてもなかなか、何とも言えるところではないのですが、質問ということで、申し訳ないです。

○水谷企画課長

ありがとうございます。

○清水会長

皆様、ほかにご意見はありますか。よろしいですか。それでは、次に進みます。

議題(3)第3次基本計画(素案)について

○清水会長

それでは、議題(3)に移ります。

議題(3)「第3次基本計画(素案)について」を議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

○水谷企画課長

それでは、引き続きまして、第3次基本計画(素案)につきましてご説明いたします。本日も第3次基本計画の素案につきましてご確認いただきたいと存じます。資料「木更津市第3次基本計画(素案)」をご覧くださいと存じます。

はじめに、目次をご覧くださいと存じます。第3次基本計画は第1章から第3章までの3部構成とし、第1章では「第3次基本計画の策定にあたって」、第2章は「第3次基本計画 施策別計画」、第3章は「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」とした3部構成としております。

第1章でございますが、「第3次基本計画の策定にあたって」として、計画の概要や進行管理、国内及び本市の現状、将来推計人口、重点戦略など総論的な部分について掲載したいと考えております。第2章につきましては、基本構想に位置づけております6つの基本方向に、令和5年度から8年度までに取り組む施策別の計画を掲載しているところでございます。第3章では、今回、一体化して内容を盛り込んでいきます、「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を掲載してございます。

次に、各章の内容でございます。まず、第1章につきましては、前回の総合計画審議会におきまして説明しておりますので、本日は説明を省略させていただきたいと存じますが、恐れ入りますが、37ページをご覧くださいと存じます。第3次基本計画の施策体系でございます。基本構想に定める5つの基本方向と20の基本政策に基づきまして、一番右の48の施策に取り組んでまいります。施策体系につきましては、前回の審議会でご説明した内容から変更はございません。

続きまして、資料「施策別計画」の1ページをご覧くださいと存じます。第3次基本計画におきましては、施策ごとに見開き2ページの構成となっております。左ページでは、上から、施策に関連性の高いSDGsのゴール、計画期間における施策の目標、これまでの取組や成果

等を踏まえた施策の現状、優先的に解決すべき課題、現状と課題を踏まえた課題解決に向けた方向性、その施策に関連した統計のグラフ、デジタル化やゼロカーボンの推進に向けた取組の方向性である、DXとGXの視点を掲載してございます。右ページに移りますと、「オーガニック」の概念及び「オーガニックなまちづくり」の基本理念と、その施策の関連性や施策の実現に向けた市の取組と市民等の取組である、オーガニックなまちづくりに向けた取組、施策に位置づけられた主な取組、施策に掲げる目標の実現に向けた具体的な指標、施策に関連する個別計画の名称を掲載してございます。

第2次基本計画からの主な変更点といたしましては、1点目として、現状と課題を分けて掲載したこと、2点目として、施策ごとにDXの視点とGXの視点を追加したこと、3点目として、施策ごとに関連する個別計画を掲載したことの3点となっております。また、文章につきましては、読みやすさに配慮し、箇条書きにしております。

施策につきましては、内容をご確認いただきまして、本日、お手元にお配りしております意見書により、素案に対するご意見等を改めてお伺いさせていただきたいと存じます。なお、意見書につきましては、恐れ入りますが、11月18日(金)までにご提出をお願いいたく存じます。

また、意見書の様式は、本日の審議会終了後、メールにてデータでも送付させていただきますので、そちらに入力していただきまして、メール返信で頂いても結構でございます。

続きまして、第3章の「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」についてでございます。

資料「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)」の6ページをご覧くださいと存じます。基本計画の素案でお示ししました重点戦略を踏まえ、主な施策と主な取組を選定いたしました。総合戦略につきましては、基本目標ごとに見開き2ページの構成となっております。左ページでは、基本目標と基本的方向の概要説明を掲載しておりまして、下段には基本的方向ごとに基本計画から抜粋した主な施策と取組を掲載しております。右ページに移りますと、基本目標毎の数値目標と基本的方向の進捗度を図るための重要業績評価指標(KPI)を設定しております。また、数値目標につきましては、第2期総合戦略からの継続性を踏まえて設定しております。KPIにつきましては、「第3次基本計画」との関連が高い施策の指標を用いて設定しております。

恐れ入りますが、16、17ページをご覧くださいと存じます。こちらは第3期総合戦略と第3次基本計画の相関関係を一覧で示しております。上段の部分が基本計画における48の施策、左側が総合戦略の基本目標と基本的方向となっております、それぞれ合致する項目が「●」で記してございます。

説明は以上でございますが、引き続き、前回の審議会で寄せられました意見と対応につきまして、ご説明申し上げたいと存じます。お手元に資料は配布してございませんが、口頭にて説明をさせていただければと存じます。

前回の審議会で、下村委員、野口委員から、「選ばれるまちになるため、重点戦略の内容をより絞るべきではないか」というようなご指摘、ご意見を頂きました。こちらにつきましては、基本計画素案の2ページをご覧くださいと存じます。こちらが基本計画ですけれども、基本

構想に掲げます将来都市像の実現に向け、各施策の取組の方向性を示す総合計画であること、また、4つの重点施策は関連性があり、それぞれの戦略の連携した取組を相乗効果につなげていく必要があることから、重点戦略として4つの施策を位置づけさせていただきたいと考えております。

なお、瀬沼委員をはじめ多くの委員からご指摘のありましたシティプロモーションにつきましては、4つの戦略を推進することで発信するコンテンツを磨き上げるとともに、発信に内容によりターゲットを絞った効果的なプロモーションについても推進してまいりたいと考えております。

次に、伊藤委員から、「これまでのまちづくりで進まなかった取組に今後どのように対応していくのか」というご意見がございました。施策別計画の中で、各施策のこれまでの取組を踏まえ、現状を整理した上で課題を明確化し、課題解決に向けた方向性と主な取組を整理することとしております。

同じく伊藤委員からの、「市民が遊べる、楽しめることに取り組む必要があるのではないか」というご意見に対しましては、本日お配りしました、「きさらづ未来ビジョン提言書」の17ページをご覧くださいと思います。去る11月3日の木更津市制施行80周年記念式典におきまして、きさらづ未来会議から市長へ手渡されました提言書の中でも、ビジョン6で「わくわくして暮らせるまち」を掲げております。提言にあります必要な取組につきまして、次期基本計画に可能な限り反映できるよう、現在、庁内で調整しているところでございます。今後、素案に肉付けをさせていただくことにご理解をいただきますようお願い申し上げます。

次に、吉田委員から、「エネルギー、食糧の自給自足に向けた対策」についてご意見がございましたが、こちらにつきましては、次期基本計画では気候危機に市として責任を持って対策を講じるとともに、市民の皆様にもご協力を頂き、市民一人ひとりがカーボンニュートラルを意識した行動に取り組む必要があることを踏まえ、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組をまちづくりの視点として捉えております。このことから、施策別計画の中では各施策でゼロカーボンの推進に向けた視点を掲げておりまして、エネルギーの自給自足に向けた取組についても推進してまいりたいと考えております。また、施策別計画の施策39「地球温暖化対策の推進」の中で主な取組を掲げてまいりますので、引き続き施策39につきまして、今後、加筆させていただきたいと考えております。

次に、総合戦略でございますが、国分委員から、「観光レクリエーションやメディテーションの発信地等々、暮らしやすさに関するKPIの設定をしたらどうか」というご意見がございました。まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるKPIといたしましては、第3期総合戦略(素案)の、11ページの下段の表をご覧くださいと存じます。基本目標2のKPIの1行目に「道の駅『木更津うまくだの里』来場者数」、2行目に「潮干狩り入場者数」の設定を予定しております。13ページの基本目標3の表の1行目には、「年間観光客入込客数」、また、15ページ、基本目標4の上段の数値目標「木更津市に愛着や誇りを感じている人の割合」を下段のKPIとして、「市内スポーツ・レクリエーション施設の利用者数」の設定を予定しているところでございます。今後、まち

づくりの進展を反映する把握可能な資料があるか、引き続き検討してまいりたいと考えております。

最後になりますけれども、玉丸委員から、「基本目標2に空家の利活用を入れたらどうか」というご意見を頂きました。第3期総合戦略(素案)の12ページをご覧いただきたいと存じます。空家の利活用につきましては、基本目標3に設定させていただきました。下段の「具体的施策」の中で、一番右の列の「主な取組」の2行目、「住環境の向上」の中に含めておりまして、13ページの下の方の表の3行目、「空家バンクを通じた空家の利活用(成約)数」をKPIとして設定をしたところでございます。また、施策別計画の施策31「住環境の整備」の中で、空家等の対策につきましては、関係機関と連携させていただきながら、適切な管理・利活用の促進に取り組む旨、記載しているところでございます。

説明は以上でございます。

○清水会長

ただいまの事務局の説明に対しまして、ご質問、ご意見、ございますか。

玉丸委員、どうぞ。

○玉丸委員

空家の件は大変ありがとうございました。私、以前から空家の件を申し上げてきたのですが、現在、宅建千葉本部において空家に関する新しいガイドブックを、千葉県の監修の下で、今、作成中でございます。今年度中に県より各自治体様の方へ送られる予定ですので、木更津市様も、届きましたらどうかよろしくお取り扱いいただければと思っております。宅建の南総支部も、これからは住みやすいまちづくりに向けて努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

○水谷企画課長

ありがとうございます。

○清水会長

ほかにもございますでしょうか。

○瀬沼委員

先ほどの意見聴取の中に渋滞ということがあったと思うのですが、そういった部分で市のほうでも取り組んでいることがあると思うので、このKPIのところに記載をして、分かりやすく発信していくこととかはお考えなのでしょうか。

○水谷企画課長

貴重なご意見でございますので、うちのほうで把握できる、分かりやすい指標があればというところではありますけれども、その辺、担当課にあたりまして効果的な指標を見出してまいりたいと存じます。ありがとうございます。

○清水会長

ほかにもご意見、ご質問、ありますでしょうか。ありませんか。素案全体に対しての質問でも結構です。吉田委員、どうぞ。

○吉田委員

第3次基本計画(素案)の37ページの最後の、「自然環境の保護・環境の保全」について、表現の問題で申し訳ないのですが、施策40を見ると、「環境の保全」だけで、「自然環境の保全」という項目は最後にあるのですが、どちらかという「環境保全」のほうを前に出して「自然環境の保護」は後のほうが、収まりがいいだろうと思います。言葉の表現が、自然環境の保護というのは、具体化している部分が全体としては少ないような感じを受けます。それで、環境保全というのは全体を全部包含した言葉なので、それを前に出したほうが、自然環境の保護を強調する文言がそんなにたくさんないような感じを受けたので、印象ですけれども、参考のために。

○水谷企画課長

貴重なご意見ありがとうございます。こちらの施策体系表は、基本方向、基本政策、施策という展開をしていますが、実は、これは基本構想に掲げる体系表になっております。

この基本方向と基本政策までは市議会のほうで議決していただいているというところがありまして、この基本方向と基本政策につきましては変えられないという事情がございます。今回の計画策定にあたりましては、この一番右の施策の見直しを図ったというところでございます。本当であれば見直したいところではございますが、申し訳ありません。

○吉田委員

では結構です。

○清水会長

玉丸委員、どうぞ。

○玉丸委員

資料がかなりありまして、どこのセクションでお話ししたらいいのか分からなかったのも、全体感ということだったので少しお話ししたいと思います。

前回も資料にありましたが、今回の資料にも載っておりますが、基本計画計画(素案)の12ページの「国内の社会経済情勢等の変化」という中に、人口減少・少子高齢化により30年後には日本の人口が1億人を下回ると言われて、その途中の17年後には労働力が絶対的に不足すると書かれておりました。さらっと読んでしまいますと、「ああ、大変なんだな」と思うけれども、大変大きな問題だと認識しております。

その打開策として大きな柱は、要するに、外国人就労者の受入れがあるかと思うのですけれども、そこには大きな言葉の壁がございます。技能実習制度とか特定技能制度による採用には、一応それなりの日本語レベルN4以上の資格を有することとなっておりますけれども、実際、現場に聞くと、コミュニケーションはなかなか厳しいものがあるのが現実でして、後で仕事をしながら、また、生活しながら習得すればいいといっても、それもなかなか大変なことでございます。

そこで思うことは、行政からも日本語学習支援と住宅支援をお願いできないものかと考えております。1つの事業所だけでは力が及ばないことも、行政と連携し官民一体となって進め

ていくことが、魅力ある就労機会の創出が可能になるかと思っております。よって、日本語学習授業料等の支援、また、外国人が日本にきたあとの生活を支える上で、家賃及び水道光熱費等での支援をぜひご検討の中に入れていただきたいと思います。

○水谷企画課長

貴重なご意見ありがとうございます。今後、事務局のほうで検討を重ねてまいりたいと思います。ありがとうございます。

○玉丸委員

はい。ありがとうございます。

○清水会長

ほかにございますか。

○伊藤委員

先ほど、前回の質問等を加えていただきまして、ありがとうございました。

今回、素案を見せていただいて、第2回でも質問があったと思うのですが、21ページの「将来人口の見通し」というところで、確認ですけれども、前回の資料は市民の皆さんも全員見られることになるのですよね。その中で21ページのページをぱっと見せられて、どの数字が目標なのかというのがはっきり分からない。具体的には、「14万人のまちづくり」の14万人の根拠は何だろうと、恐らく大半の市民は思うかなと思います。なので、「出生高位」、「出生低位」のこの数字も載せている根拠も含めてですけれども、その辺はもっと細かい説明が必要ではないかと思ったのですが、いかがでしょうかというのが1点です。

それと、ただ単に人口が増えるのがいいということではなくて、高齢化がとにかく進むということであれば、第1回目か何かの資料で65歳以上の世帯の増加のグラフがあったと思いますけれども、それがこの素案からは消えてしまっていて、言葉だけで高齢化、高齢化と。「こんなふうに木更津市で高齢化が進んだ。では、何か対策をとらないといけないよね。市はどう考えているんだ」という目で見られるかと思うので、資料としては少しロジック的に不足しているのかなと思いますので、その辺をご検討いただきたいと思います。

あと、もう1点。先ほど意見聴取で渋滞の話があったかと思います。住民説明会の「木更津飛行場周辺まちづくり基本計画」の金田地区のものに行かせていただいたのですが、その中にこの30代の男性の方ではないかと思われるような意見があったのですが、例えば医療関係は、君津中央病院から来るのが非常に大変だから、まちのエリアに医療機関が欲しいとか、あとは、とにかく金田地区は、週末は出ると動けないから出るなどと言っていると。

多分、地区ごとの問題も国道16号の問題もあるのですが、金田地区はあれだけコストとかアウトレットとか整備されて、市的には恐らく税金にもなっているのだけれども、住民としては非常にご苦労されているのが伺えました。

ですので、やはりこういういろいろな施策の中に交通的な計画を早急に立ててあげないと、金田地区はまだ人口が増えているかと思うので、その辺の整備も同時に進めないといけないのではないかな。あの時には、市長公室の方がご回答いただいていた、何とかしろと言われたの

に、「うーん」という話になってしまっていて、例えばアクアラインのロードプライシング化とか、苦し紛れにご回答いただいていたような気がしましたので、その辺を施策の中に盛り込んでいただければと思います。

長くなってすみませんが、もう1点。市として、いわゆる中心部の空洞化というのは長年の問題で、その時も実は高齢の方から、「いくらやったって無理ではないか」みたいな意見もあったのですけれども、そこはいい加減になんとか、何かしらのコンテンツなり盛り込んで、電柱の無電柱化とか、アーケードの撤去とか、そういうことを進めているという話だったと思うのですけれども、進めたら人が来るのかというところのロジックが少し不足していると、この資料を見てもあまり載ってこないなと。名前の問題だと思うので、その辺についても重点的に施策をしていかないと、このままだとずっとあそこはあのままなのかなということがあるので、その点についてもご配慮いただければと思います。以上です。

○事務局 佐久間

貴重なご意見、ありがとうございます。まず、将来人口の見直しと65歳以上の高齢者世帯等を少し加筆したほうがいいのかというご意見につきましては、資料3をもう一回見直して、加筆をさせていただければと思います。ありがとうございます。

最後に、金田地区の渋滞のことですが、こちらは施策33「交通体系の充実」のところに記載があるのですけれども、今後、金田地区の道路整備にあたっては、県との協議等々を含めて道路整備を進めていく形になります。こちらは最初に「道路網の整備」のところで、主要幹線道路の整備を推進すると書いてありますので、こちらを進めていく形で、今後、県と関連機関と協議しながら進めていきたいと思っています。貴重なご意見、どうもありがとうございました。

○清水会長

ほかにございますか。

○国分委員

質問ですけれども、第3章の資料の11ページで、今回、KPIを作っていただきましてありがとうございます。この中で、道の駅の「うまぐたの里」と潮干狩りのところで、約30万人増を計画しているということですが、次のページ、13ページの「年間観光客入込数」のところでは60万人増になっています。これは「大規模集客施設を除く」となっているので、まず、うまぐたの里は大規模集客施設に入るのか、入らないのか。もし入らないということであれば、この差をどういうふう考えた、観光客の増を考えているのかを教えていただければと思います。

○事務局 佐久間

はじめに、うまぐたの里の来場者数でございますが、こちらは大規模集客施設という位置づけでしておりますので、先ほどの年間観光入込客数には入っておりません。こちら、「大規模集客施設を除く」という形になります。現状値につきましては、今はコロナの関係が落ち着いてきたところですが、コロナの影響を受けている状況の数値となっております。

今後、こちら、大規模集客施設を除くということになりますと、市街地の活性化、人の回遊をもっと市街地に向けていくことを、今後施策として、中心市街地活性化施策も含めて進めてお

りますので、その施策を反映させた目標値となっております。今後は、例えば鳥居崎海浜公園とか、そういったパークバイプロジェクトを市のほうで進めておりますので、そちらの施策を進めていくことで年間観光入込客数も増やしていきたいという目標になっています。

○国分委員

分かりました。前回、スポーツイベントとかそういったものも入れたらどうかと思ったので、もしそういうものが盛り込まれれば、なお良いかなと思ったところが少しありました。ただ、この今の数値に関しては、コロナがなくなっていくということや、パークバイとか市街地等々を含めた計画だということは分かりました。ありがとうございました。

○清水会長

ほかにございますか。まだまだ時間はたっぷりありますので、忌憚のない意見をお願いいたします。

○伊藤委員

施策29「市街地整備の充実」の「課題」の2つ目に、「超高齢化社会に備え、木更津駅周辺市街地に、多様な都市機能を集積するとともに、金田地区の来街者の回遊性の向上を図る」とあるのですが、回遊性という言葉が、先ほどお話しさせていただいたまちづくりとか、そちらのほうにも結構頻出するのですが、この回遊性の意味を教えてくださいと思います。

具体的には、車で回遊するのか、市民を回遊させるのか。ここに書いてあるのは来街者ということで、外部から、アウトレットとかから来た人を市の中心部なりに回遊させるという意味なのか。まちづくりのほうで資料を見せていただいた時に、吾妻地区や江川の所に駐車場がそれぞれ500台くらいの規模で計画されているみたいなのですが、そうすると、想像するのは車で回遊の意味なのか。そうすると、SDGsとかGXとは少し反して、車で回遊させるという意味に取られかねないなというようなところを、少し疑問に思いました。この回遊性という意味を教えてくださいと思います。

それと、関連の質問ですが、施策34「港湾機能の充実」の「DXの視点」、「GXの視点」について、「DXの視点」で「国内外へ木更津港の情報発信強化」は、何を発信するのだろうというのを教えてください。「GXの視点」で「大型クルーズ船の脱炭素戦略の啓発」、これもどういう意味なのか教えてくださいと思います。

○清水会長

事務局、説明をお願いします。回遊についてとGXの2点ですね。

○事務局 佐久間

施策29「市街地整備の充実」の回遊のところですが、こちらは、車の回遊等の意見がございましたが、路線バスの回遊とか、あとは徒歩とかいろいろあるかと思うのですが、そういった中心市街地活性化施策の中で、路線バスや徒歩の回遊の向上に向けた取組ということになっております。

次の施策34「港湾機能の充実」のDXとGXの視点でございますが、こちらは担当課に確認の上、後日メールで委員の皆様にご回答をお知らせしたいと思います。

○清水会長

伊藤委員、よろしいですか。

○伊藤委員

回遊性については、まちづくり基本計画にも書いてある、これは市の西側地区の回遊性の向上のために、中規模ホールを吾妻公園とか、いろいろな計画をされているのですけれども、先ほどの話の繰り返しになってしまいますが、駅前に何もコンテンツがない中で、「きれいにしたからみんな来いよ」では来てくれるわけではないので、その辺も含めて、回遊性を向上するためにはどういう工夫をしなければいけないかという部分をよく説明されないといけないのではないかと思います。

○水谷企画課長

貴重なご意見、ありがとうございます。その辺につきましても、もう少し踏み込んだ言い回しが必要になってくるのかなと思っておりますので、検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。

○清水会長

ほかに質問はございますか。ご意見でも結構です。吉田委員、どうぞ。

○吉田委員

先ほどの関係で、今、地球環境の関係で東京ベイのCO₂削減とか水素の話がいろいろあるので、その中で港湾も当然対象になったり、あるいはコンビナートも対象になるような話が、当然、京葉コンビナートはどっぷりつかっているのですかね。あと、その主要に出光さんとかENEOSさんがやっていると聞いているのですけれども、木更津はその中にコミットされているところがあるのではないかと思います。それに関係する話があるのか、ないのか、参考までにそこら辺を聞かせていただきたいと思います。

○水谷企画課長

そちらに関しましては情報を持ち備えてないものですから、後日、皆さんのほうにお知らせさせていただければと思います。ありがとうございます。

○吉田委員

多分、産業振興課のほうですね。

○水谷企画課長

そうです。

○清水会長

ほかにございますか。これで閉めますけれども、よろしいでしょうか。

意見がないようですので、最後、「その他」、事務局より何かございますでしょうか。

4. その他

○事務局 佐久間

今後の第3次基本計画の策定スケジュールについて、ご説明いたします。

資料「第3次基本計画等策定スケジュール」をご覧ください。

第3次基本計画の策定スケジュールにつきましては、本日の審議会終了後、11月17日に庁内各部等の部長級が出席する政策調整会議、11月22日に市長、副市長、教育長が出席する総合政策会議にて、計画の素案について検討を行います。その後、市議会に対しては、12月6日の総務常任委員会協議会、及び12月14日の議員全員協議会において、計画の素案と意見公募の実施についてご説明いたします。市民の皆様から広くご意見を伺う意見公募につきましては、12月15日から1カ月間実施いたします。年明けの1月下旬に、意見公募結果や意見公募結果を踏まえた計画への反映についてを議題に、第4回総合計画審議会を開催させていただきます。その後、審議会で頂いたご意見を踏まえ、庁内の会議である総合計画策定会議、政策調整会議、総合政策会議において計画案の決定を行います。その後、第3次基本計画・実施計画の決定、公表というスケジュールにて、取り組んでまいりたいと存じます。

説明は以上でございます。

○清水会長

ありがとうございました。

最後に、渡辺市長よりご挨拶をお願いいたします。

○渡辺市長

本日は大変お忙しい中、ありがとうございました。また、貴重なご意見を頂き、本当にありがとうございます。様々なご意見の中で、やはり協働の力というのが本当に大切なのだなと改めて感じさせていただきました。最後の計画策定完了に向けて、しっかり取り組んでまいりたいと思いますので、遠慮なく忌憚ない意見を賜りまして、改めて議論させていただきながら、進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○清水会長

ありがとうございました。それでは、以上をもちまして第3回総合計画審議会を終了いたします。委員の皆様におかれましては、長時間にわたりご審議いただきまして誠にありがとうございました。お気を付けてお帰りください。

第3回木更津市総合計画審議会の内容について、上記のとおり確認します。

令和4年12月15日

木更津市総合計画審議会 会長

清水一太郎